校長だより

令和6年5月22日(水)

第田市立山岸成中学校 松下孝徳

令和6年度が始まり、2か月がたとうとしています。みなさん、今の生活に慣れてきたでしょうか。私はまだまだ目の前の仕事をこなすのに精一杯です。岸成中学校にはお昼の学校とほぼ同じに夜間中学校があります。この環境に慣れるまで、もう少し時間がかかりそうです。

今回は4月から5月にかけての子どもたちの様子について、お話したいと思います。

この4月は子どもにとっても(大人にとっても)『頑張る月』です。『前向きに頑張ろう、進級したからには、勉強や部活頑張るぞ!』と良い意味で前向きな人が多いです。また、なかなか学校に行けなかった人が心機一転、学校に向かう場面もあります。しかし、人間関係でも頑張ろうとする、子どもも多くトラブルやけんかが起きる場合があります。特に1年生は4つの小学校から集まって新しいクラスができるので、『頑張る』場合が多いです。

なので、4月は前向きに頑張ろうとする場面や、トラブルにおける摩擦をよく目にします。教師にとって、この4月は生徒と向きあい、心寄せし、人間関係のトラブルを整理し解決へと導くこと、生徒との関係性を高めることに注力します。そして、5月のGWや家庭訪問が終わり、多くの摩擦の後の化学反応が起きてきます。5月になると、少し学校やクラスにも慣れてきて、新たなトラブルも増えてきます。4月からの緊張からくる疲れから、息切れしやすくなります。少し、しんどさを感じる月なのです。(私が経験した学校でもほぼ同じでした。)なので、教師陣は様々なアプローチで子どもたちと向きあっていきます。そして、このタイミングではほとんどの学校では定期テストを行います。少し落ちついて、自分と向きあい勉学に励んでもらうようにするためです。いよいよ明日は中間テスト、3年生は特に結果を出さなくてはいけないテストです。気合いが入っています。2年生もエンジンがかかってきました。1年生にとっては初めての中学校のテスト、まずはルールを覚え、小学校の時のテストの形でないことを学んでいます。中間テストを終えると、いよいよ各学年上半期の最大の行事がおとずれます。今、各学年とも着実に計画進行中です。各学年のみなさんが有意義な時間を過ごして、思い出に残るような行事にできたらいいですね。

これから5月病も本格的になる季節です。ご家庭におかれましても、日々ストレスフルな状態が続くかも知れません。できる限り学校が安心安全の場となるように努力してまいりますので、今後もご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。